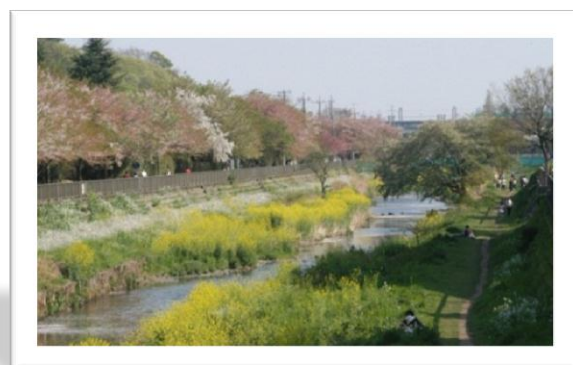

狛江市

シティセールスプラン実施計画



平成 26 年 10 月



狛江市シティセールスプラン実施計画

目次

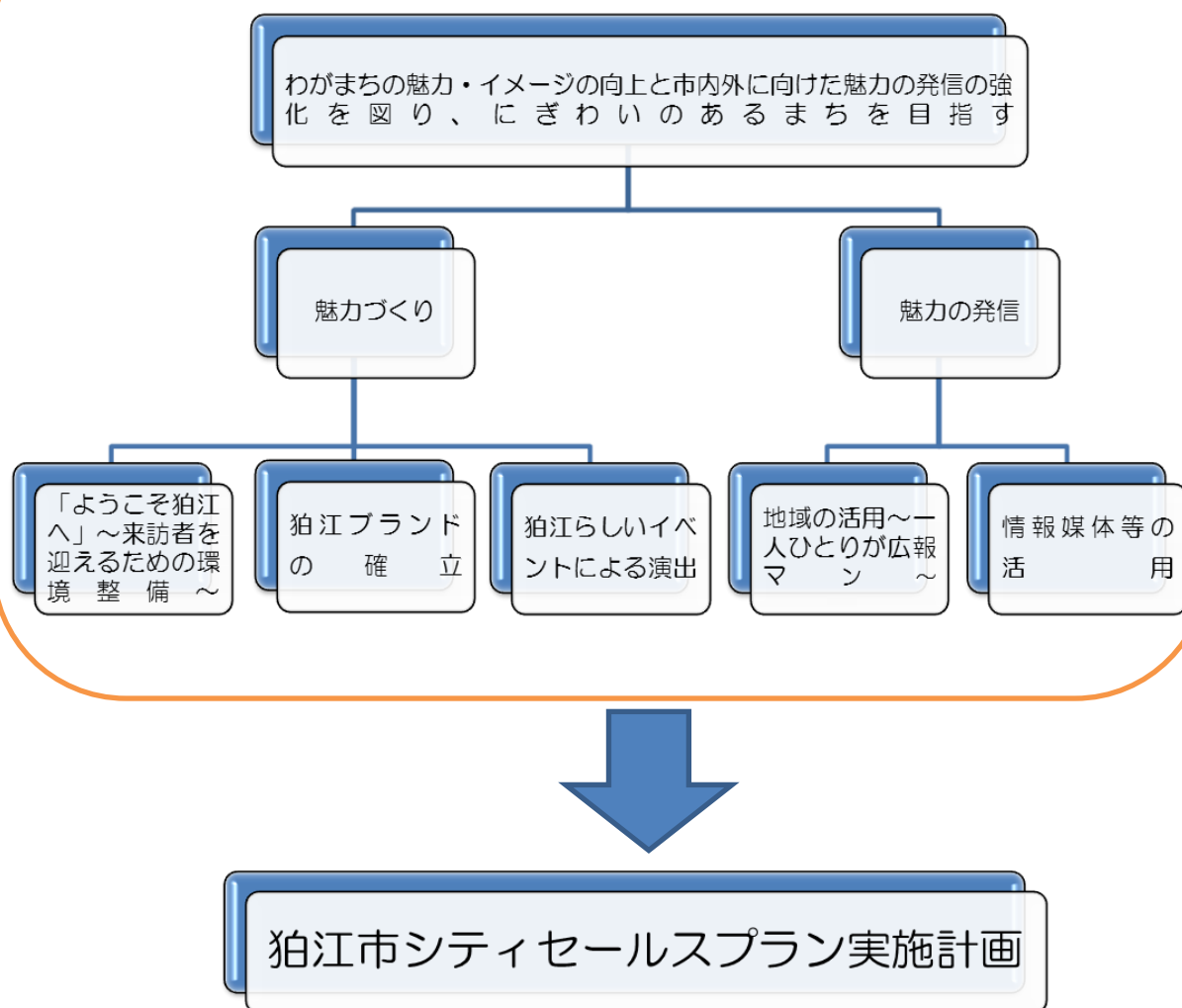
1. 実施計画の目的・位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 推進体制の構築と取組みの検討・・・・・・・・・・	2
3. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4. 事業内容	
(1) 事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(2) 重点事業の現状分析・・・・・・・・・・	5
(3) 実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5. 資料編	
(1) 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会委員及び 庁内検討部会部会員名簿・・・・・・・・・・	31
(2) 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会及び 庁内検討部会開催状況・・・・・・・・・・	32
(3) 設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34

1. 実施計画の目的・位置付け

平成26年4月に策定した「狛江市シティセールスプラン」は、市におけるシティセールス推進の基本方針であることから、シティセールスに向けた各種事業の実施・推進における具体的な計画として「狛江市シティセールスプラン実施計画」（以下、「本実施計画」という。）を策定しました。

また、「狛江市シティセールスプラン」で掲げられた5つの体系図について、それぞれ取り組むべき事業を本実施計画の中で示しました。これらの事業について、その確実な進展を図るために必要となる具体的な取り組み概要と年次計画を示し、進捗の管理を行っていきます。

【狛江市シティセールスプラン体系図】



2. 推進体制の構築と取組みの検討

狛江市シティセールスプランを実効性のあるものとするためには、狛江市全体での一体的な取組みとして、行政のみならず、市民・NPO・地域・企業等と連携した「オール狛江」のもとで、このシティセールスプランを推進していくことが必要であるとともに、市でも庁内で横断的にシティセールスに取り組んでいきます。

このため、平成 26 年度に、庁内でシティセールスの取組みを検討・推進するための組織として、課長相当職からなる狛江市シティセールス推進庁内検討委員会（以下、「委員会」という。）を立ち上げました。

同時に実際の取組みについて検討を行う組織として、係長相当職からなる狛江市シティセールス庁内検討部会（以下、「部会」という。）を立ち上げ、委員会での 4 回にわたる検討と、部会での 8 回にわたる検討を相互の意見を調整・集約しながら行いました。

また、実施する事業については、市の財源だけでなく、積極的に補助金等の活用や、利用者・参加者の応分の負担、民間への収益機会の創出も検討しつつ、財源の確保を図りながら取り組んでいきます。

3. 計画期間

本実施計画の計画期間は平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間としますが、委員会において毎年度進捗管理を行い、見直しを図り 1 年ずつ計画を延長していきます。

なお、本実施計画より早期に取り組める事業については、計画を前倒しして実施していきます。

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	見直し 	見直し 

4. 事業内容

(1) 事業一覧

本実施計画では、シティセールスを推進していくために核となる事業を「重点事業」（表1）、その他の事業を「個別事業」（表2）と位置付け取り組んでいきます。

重点事業は、現在市が実施している事業や平成27年度以降に実施する事業の中から、シティセールスを推進していくために必要な「交流人口の増加」、狛江市に人を呼び込み、にぎわいのあるまちを目指すために核となる事業を掲載しています。また、平成27年度には市が市制施行45周年を迎えることから、主要な周年事業について、特に実施に向けて全庁的な協力体制が必要な事業を重点事業として位置付けています。

なお、以下に示す重点事業において、平成27年度に実施するものについては、市制施行45周年記念事業として充実を図っていきます。該当する事業については★を付けています。

また、個別事業では、来訪者を迎えるための環境整備や情報発信の強化などに取り組むことにより、様々な角度からシティセールスを推進していきます。

本実施計画で取り組む重点事業及び個別事業の一覧は以下のとおりです。

表1 重点事業

	項番	事業名	
	1	桜まつり	★
	2	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン (平成28年度開催予定)	
	3	狛江古代カップ多摩川いかだレース	★
	4	花火大会(平成27年度)	★
	5	安心で安全なまちづくりの日のイベント	★
	6	市民まつり	★
	7	多摩川流域郷土芸能フェスティバル	★
	8	初春まつり	★

表2 個別事業

	項番	事業名
「ようこそ狛江へ」～来訪者を迎えるための環境整備～		
	1	案内の充実

	2	狛江の魅力発見事業
	3	史跡・文化財等地域資源の活用
	4	ふるさと納税
	5	狛江のまち—魅力百選冊子の活用事業
	6	こまえの自然・生きもの観察事業
	7	河川環境向上事業
	8	音楽事業
	9	絵手紙事業
	10	プレーパーク事業
狛江ブランドの確立		
	11	狛江ブランド野菜のPR事業
	12	子育て応援事業
	13	水と緑のまち
狛江らしいイベントによる演出		
	14	フォトコンテストによる魅力づくり
	15	ふれあい農業の推進
	16	枝豆 PR
	17	市内の史跡めぐり
	18	スポーツ・健康づくりを通じた交流事業
	19	狛江駅前のにぎわいの創出
	20	こまエコまつり
地域の活用～一人ひとりが広報マン～		
	21	友好交流都市や災害協定を結んでいる都市との交流の促進
	22	キャラクターの活用
	23	観光大使の活用
	24	小田急電鉄株式会社との連携の強化
	25	大学生とのシティセールス事業
情報媒体等の活用		
	26	観光などの魅力を発信するホームページの開設
	27	SNS の活用
	28	子育てサイト発信
	29	撮影支援事業の拡充
	30	民間活力を活かした情報誌の作成
	31	新たな広告媒体の設置、拡充
	32	パブリシティの活用

(2) 重点事業の現状分析

(1) で示した重点事業の現状を、実施時期（四季）による観点及び「見る」「食べる」「遊ぶ（体験する）」の観点から見直しを図ります。

現状では、表3に示すように実施時期及び「見る」「食べる」「遊ぶ（体験する）」の観点から分析すると偏りがみられます。本実施計画策定後には、表4に示すように、四季それぞれの時期において、様々な角度から楽しめるようになります。この基本的な考え方を基に事業の充実を図り、シティセールスを推進していきます。

表3 重点事業の現状

	見る	食べる	遊ぶ（体験する）
春			
夏	・ 狛江古代カップ多摩川 いかだレース	・ 狛江古代カップ多摩川 いかだレース	・ 狛江古代カップ多摩川 いかだレース
秋	・ 市民まつり ・ 安心して安全なまちづくり の日のイベント	・ 市民まつり	・ 市民まつり ・ 安心して安全なまちづくり の日のイベント
冬	・ 多摩川流域郷土芸能 フェスティバル		



表4 実施計画策定後の状況

	見る	食べる	遊ぶ（体験する）
春	・ 桜まつり ・ ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン (平成 28 年度開催予定)		
夏	・ 狛江古代カップ多摩川いかだレース ・ 花火大会 (平成 27 年度)		
秋	・ 市民まつり ・ 安心して安全なまちづくりの日のイベント		
冬	・ 多摩川流域郷土芸能フェスティバル ・ 初春まつり		

(3) 実施事業

本実施計画で取り組む重点事業及び個別事業の取組み概要や実施スケジュール、具体的な取組み案などを示します。

重点事業及び個別事業は、主管組織を中心として全庁的に取り組んでいきます。

重点事業

事業番号 1 ★

事業名	桜まつり		主管組織	秘書広報室 地域活性課 社会教育課
取組み概要	市内にある多摩川土手の五本松付近・六郷さくら通り・根川さくら通りなどの桜並木の素晴らしさを市民には改めて、来訪者には新たに知ってもらうため、にぎわいの演出等の環境整備を行う。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

桜の名所において飲食の提供やライトアップ等を行い、にぎわいの演出を図っていく。
また、むいから民家園では桜の情景を生かし、古民家園らしい事業を実施していく。



根川さくら通りの桜並木

事業番号 2

取組名	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン		主管組織	地域活性課
取組み概要	平成 28 年度に日本最大級のクラシック音楽祭のサテライト開催を目指す。 ※ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン・・・フランス北西部で誕生したフランス最大級のクラシック音楽祭の日本版 ※サテライト・・・本体とは別に存在するもの			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実行委員会立ち上げ関係機関調整	実施		

【具体的な取組み案】

平成 27 年度に実行委員会を立ち上げ、東京国際フォーラム及び関係機関と調整を行い、次年度実施のラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンの狛江市でのサテライト開催を目指す。

事業番号 3 ★

取組名	狛江古代カップ多摩川いかだレース		主管組織	地域活性課
取組み概要	多摩川という貴重な資源を活用して、いかだレースをとおして流域をはじめさまざまな交流のステージとなるような取組みを進める。 また、既存のいかだレースに加え、ビアガーデン、バーベキューの実施等を検討し、この事業の拡充を図る。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	

【具体的な取組み案】

平成 26 年度は、流域 7 自治体（狛江市、調布市、川崎市、府中市、日野市、多摩市、稲城市）による「多摩川イベントラリー」を実施するなど、来場者の拡大に努めた。平成 27 年度は市制施行 45 周年とともに、25 回目の開催となる節目を迎える。テーブル席の増設の検討や、イベント性の拡充を図る。



第 24 回狛江古代カップ多摩川
いかだレース

事業番号 4 ★

取組名	花火大会		主管組織	地域活性課
取組み概要	平成 27 年度に市制施行 45 周年を祝い実施する。川崎市との連携を検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施（5 年毎事業） ➡			

【具体的な取組み案】

平成 26 年度に実行委員会を立ち上げ、関係機関との調整を経て、市制施行 45 周年事業として、花火大会の企画及び実施計画書の作成を行う。

平成 27 年度は関係機関との最終調整及び必要な申請等を行い、8 月（予定）の開催を目指す。



音楽と花火の祭典
（市制施行 40 周年事業）

事業番号 5 ★

取組名	安心で安全なまちづくりの日のイベント		主管組織	安心安全課
取組み概要	安心で安全なまちづくりの日（10 月 25 日）に合わせて、安心安全の啓発等に係るイベントを実施し、日本一安心安全なまちを目指す。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

防災・防犯を中心に、講演会や訓練等の啓発・体験事業を通じて市民の安心安全に関する意識向上を図る。

また、災害時応援協定の締結自治体の物産紹介等による自治体間交流を図ることも検討していく。

取組名	市民まつり		主管組織	地域活性課
取組み概要	狛江市最大のイベント・祭り、さらなる充実を図るための取組みを検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

平成 26 年度はふるさと友好都市「川口地域」や住民交流友好都市「小菅村」に加え、災害協定を締結した「上野原市」、「三島市」、「石巻市」も参加し市民まつりを盛り上げる。

平成 27 年度の市制施行 45 周年に向け、市民まつり実行委員会と内容の拡充について検討を行う。



市民まつり（狛江第一小学校グラウンドの様子）

事業番号 7 ★

取組名	多摩川流域郷土芸能フェスティバル		主管組織	地域活性課
取組み概要	多摩川流域における地域に根付いている郷土芸能の競演。 広域で他地域と連携している重要な事業であり、今後も他地域との連携を広げていく。郷土物産展などの拡充も検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

平成 25 年度の6自治体から平成 26 年度は8自治体（丹波山村、小菅村、奥多摩町、日野市、府中市、多摩市、調布市、狛江市）の参加による開催となる。平成 27 年度はさらに参加団体を拡大しての実施を計画している。



東京都との共催という位置付けもある事業である。 多摩川流域郷土芸能フェスティバル

事業番号 8 ★

取組名	初春まつり	主管組織	秘書広報室 安心安全課 地域活性課 社会教育課
取組み概要	毎年1月の第2日曜日に、市内3カ所で開催されている多摩川ロードレース、狛江市消防団出初式、どんど焼きを1つの会場を拠点に集約し、さらに食べる・遊ぶの要素を取り入れて、多くの来場者が見込める狛江の冬の重点イベントとして位置付ける。		
スケジュール	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	実施	継続	継続

【具体的な取組み案】

多摩川ロードレース、狛江市消防団出初式、どんど焼きと同時に食べる・遊ぶの要素を取り入れた形として一体的に開催することにより、にぎわいの創出を図る。当該事業については、補助金等を活用のうえ、計画を前倒しし平成 26 年度より実施を検討する。

個別事業

■「ようこそ狛江へ」～来訪者を迎えるための環境整備～

市外からの来訪者を迎えるため、おもてなしの準備をします。狛江市には、魅力的な自然や風景、伝統・文化に根ざした地域の行事、独自性を活かした活動などがたくさんあります。それらを市外からの来訪者へ分かりやすく、狛江の見どころが分かるように環境を整備し、また、お客様を迎えるための市民の意識の向上を図る事業に取り組みます。

事業番号 1

取組名	案内の充実		主管組織	秘書広報室
取組み概要	市内外の方に狛江の魅力を知ってもらうため、現在各課で配布・作成している様々なマップの一覧や、駅前等でマップを一度に受け取ることができるような設置場所を検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施	継続	継続	

【具体的な取組み案】

市内の駅前等で広報こまえラックの他に改札口に新たなラックを設置し、来訪者に様々なマップを一度に手に入れることができる場所を提供していく。

各課で配布しているマップの一覧表を作成し、ホームページなどで公開し、見える化を図る。



狛江市観光マップ

事業番号 2

取組名	狛江の魅力発見事業		主管組織	市史編さん室 社会教育課
取組み概要	自分が住んでいるまちの歴史や文化財等の地域資源、地域の魅力を知ってもらい、自分が住むまちへの愛着を深めてもらうとともに、まちのセールスポイントについて考えてもらう機会を提供する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

狛江の歴史や文化財、遺跡や古墳等に関する講演会、講座、展示などを行うことや関連した書籍を刊行することで、市民向けに積極的に情報を発信していく。また、子ども向けにガイドブックを作成し、学校とも連携し、学校への出張講座を行っていくとともに、古民家園を活用した体験学習を実施していく。

事業番号 3

取組名	史跡・文化財等地域資源の活用		主管組織	社会教育課
取組み概要	来訪者に向けて、市内に点在する史跡・文化財などの説明・案内を充実していく。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

猪方小川塚古墳、土屋塚古墳などの古墳や史跡の整備と統一的なデザインによる説明板の設置を進めるほか、まちの昔の景色等に関するプレートの設置等を進めていくとともに、それらをネットワーク化した散策ルートの設定や、テーマに特化した散策ルートの設定とガイド（史跡歩きマップ等）を作成していく。また、郷土資料展示室や古民家園など史跡めぐりの拠点となる施設について検討していく。

事業番号 4

取組名	ふるさと納税		主管組織	課税課
取組み概要	ふるさと納税の仕組みを使って、特定のテーマに沿った寄付金を集める。また、インターネットを活用し、クレジット決済を可能とするとともに、謝礼品を送付する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討・実施	実施	継続	
				

【具体的な取組み案】

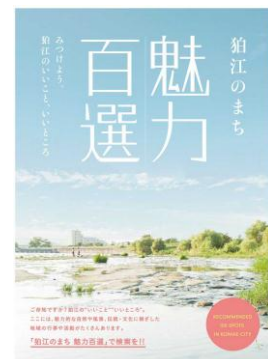
クレジット決済を含めてインターネットを活用したふるさと納税を検討していく。

事業番号 5

取組名	「狛江のまち-魅力百選」冊子の活用事業		主管組織	まちづくり推進課
取組み概要	「狛江のまち-魅力百選」冊子の活用を図り、狛江をもっと知ってもらうため、魅力百選の掲載箇所を巡るウォーキングなどのイベントを検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討 	実施 		

【具体的な取組み案】

「狛江のまち—魅力百選」冊子を市内公共施設等にて配布するとともに、平成 26 年度は、市内の小中学校の全生徒・児童を対象に配布し、狛江のまちをもっとよく知ってもらうためのきっかけ作りを行った。今後、冊子に掲載しているまち歩きルートや、ココシルこまえて案内しているルートをベースに、まち歩きイベントを検討し、併せて参加者の募集方法を検討する。



「狛江のまち—魅力百選」

事業番号 6

取組名	こまへの自然・生きもの観察事業		主管組織	環境政策課
取組み概要	多摩川や野川など市内を代表する自然観察スポットに生息する生きものや植物を紹介し、また、生きもの調査会や自然観察会の実施などを通じて狛江の自然に親しむことのできる機会を提供し、市の環境に親しみをもってもらおう。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

市民参加の生きもの調査会や弁財天池特別緑地保全地区の自然観察会を通して自然に触れ、狛江の環境の良さを再認識してもらうとともに、蓄積した情報を市内外に発信していく。

事業番号 7

取組名	河川環境向上事業		主管組織	環境政策課
取組み概要	河川環境向上（多摩川や野川）のため、市民・学校・事業者・地域団体・行政等が連携して美化清掃活動を行い、自然環境の保全を進め、狛江の魅力づくりに努める。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

清掃活動だけではなく、生きもの調査会や水辺の楽校などの活用を通して、河川環境の状況把握を行い、河川環境の向上につなげていく。また、五本松や西河原公園の桜並木などの周辺環境の景観向上をすることで、人が集う魅力ある河川にしていく。

事業番号 8

取組名	音楽事業	主管組織	地域活性課
取組み概要	狛江駅北口での駅前ライブやシンボルコンサートなどのPRをさらに進め、多くの人が参加できる音楽事業を推進する。 ※シンボルコンサート・・・「音楽の街ー狛江」が企画する総合音楽イベント。毎年テーマを決めて実施し、狛江市に縁のある演奏者が出演する。		
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	継続	継続	継続



【具体的な取組み案】

文化芸術活動の拠点となるエコルマホールを中心として、多くの人が参加できる事業を実施する。

事業番号 9

取組名	絵手紙事業	主管組織	地域活性課
取組み概要	絵手紙が盛んな狛江市において、絵手紙ギャラリー等の拡充を通じ来訪者の増加を図る。		
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	継続	継続	継続



【具体的な取組み案】

文化芸術活動の拠点となるエコルマホールを中心に、四季折々の絵手紙を街中に掲示する等観光資源として絵手紙を位置付けることにより、来訪者の増加を図る。

取組名	プレーパーク事業		主管組織	児童青少年課
取組み概要	平成 28 年 1 月から西河原公園内に常設し、大人も子どもも楽しめるプレーパークづくりを目指すことにより、地域の中で子どもを育む環境づくりを推進する。また、それにより市内市外を問わず、参加者の増加を図る。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

市民とともに、魅力あるプレーパークづくりを目指すとともに、プレーパークならではのイベントを開催する。



プレーパーク（西河原公園）で遊ぶ子ども達の様子

■ 狛江ブランドの確立

狛江市では、シティセールスのためのブランドとして「狛江野菜」「小さいまち」「水と緑のまち」という3つを取り上げ、市内外にこれらを広くPRし、各種事業などとも組み合わせることで、狛江市全体の魅力を高めることを目指します。

事業番号 11

取組名	狛江ブランド野菜のPR事業		主管組織	地域活性課
取組み概要	都内で初めてとなる GAP 野菜の推進。また、狛江 GAP 研究会及び JA マインズとも連携しながら、狛江ブランド野菜に触れる機会を増やすためイベント等の検討を行い、ブランド野菜としての価値を高める。 ※GAP（農業生産工程管理）・・・野菜の作付けから収穫までを事前に設定したチェックリストで正確な実施・記録・点検および評価を行い、それを持続的に改善し、安心して安全な農産物を生産していくもの。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	

【具体的な取組み案】

各種イベント等を通してPRを図る。観光マップ等の改定時等での各種情報提供を行う。



狛江ブランド野菜シール



狛江ブランド野菜結束テープ



狛江産の新鮮な野菜

事業番号 12

取組名	子育て応援事業		主管組織	子育て支援課
取組み概要	子育て応援事業協賛店を拡大し、市・協賛店・市民で子育てを応援していることをPRするとともに、子育てサイトを周知し、子育てにやさしいまちであることをPRしていく仕組みを検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討 	実施 	継続	

【具体的な取組み案】

こまめ子育てねっとの普及、充実を図っていく。また、子どもを連れて買い物や食事などがしやすい施設や気軽に立ち寄れるお店などを、子育てサイトの「ここマップ」に掲載するとともに、MAP 等の作成について検討する。

子育て応援事業協賛店を利用した人に協賛店からコインを配布し、そのコインで市役所待合室に設置したカプセルトイを利用できるようにする。カプセルトイの中身は、えだまめ王子のグッズ。協賛店を増やし、市全体で子育てを応援していることをアピールする。

事業番号 13

取組名	水と緑のまち		主管組織	環境政策課
取組み概要	狛江市エコパートナーシップ制度や花いっぱい事業など、市民が実施している様々な環境活動を推進していき、自然と調和のとれた住環境を維持していく。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充 	継続	継続	

【具体的な取組み案】

狛江市エコパートナーシップ制度や花いっぱい事業、花とみどりの即売会、市民による公園等の管理等により緑化を推進し、市民、事業者と行政が協働して「水と緑の住宅都市」にふさわしいまちづくりを推進していく。

■ 狛江らしいイベントによる演出

魅力あるイベントは市内に限らず、市外の方を惹きつける地域資源として効果的です。全国でも独自性のあるイベントが行われている自治体は、イベントとともに認知度も高くなっています。マラソン大会、グルメフェスティバルなどのイベントには、遠方からも多くの方が足を運ぶものがあります。

狛江市では、多摩川河川敷を活かしたイベントなど狛江の資源を活かした狛江らしいイベントの創出・拡大により狛江市の交流人口の増加を目指します。

事業番号 14

取組名	フォトコンテストによる魅力づくり			主管組織	地域活性課
取組み概要	魅力百選のスポットや多摩川、また、平成 27 年度は花火大会が開催されるなど、撮影の題材は狛江市内に多く存在することから、これらを活用したフォトコンテストを実施するとともに、入選作品を活用した小冊子の作成など市民参加型の狛江の魅力づくりと位置付ける。				
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
	実施 (フォトコンテスト)	検討・実施	継続		

【具体的な取組み案】

平成 27 年度については花火大会の中で、狛江市観光協会主催のフォトコンテストの実施を想定している。



多摩川土手から撮影したダイヤモンド富士

事業番号 15

取組名	ふれあい農業の推進		主管組織	地域活性課
取組み概要	都市型農業地である粕江らしい農業体験活動として、一日農業体験等を実施（収穫の時期等）し、市民が気軽に農業に触れることができるイベントを奨励する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

JA 青壮年部が主催する農業ウォッチングラリーの支援を行う。

事業番号 16

取組名	枝豆 PR		主管組織	地域活性課
取組み概要	市では市の形が枝豆に似ていることや、市内で枝豆の生産を行っている農家が多いこと、その他、子育てサイトでえだまめ王子をキャラクターとするなど、市の PR に枝豆を活用していることから、枝豆を活用した既存イベントの支援等を通して枝豆の PR を行う。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

平成 26 年度のいかだレースの際に粕江市観光協会が主催したこまえ枝豆ビアガーデンや粕江市農産物直売会の主催により JA マインズで実施されている枝豆まつり等、枝豆を活用したイベントの支援等を通して PR を行う。



枝豆まつり



粕江産の新鮮な枝豆

事業番号 17

取組名	市内の史跡めぐり		主管組織	社会教育課
取組み概要	市内の古墳や史跡、文化財をめぐる史跡めぐりや、関連した講演会、講座などを実施する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

毎年、秋に実施される東京文化財ウィーク期間を中心に、市内の文化財・史跡めぐりや
狛江らしいテーマに特化した歴史・文化財に関する講演会・講座などを実施していく。

事業番号 18

取組名	スポーツ・健康づくりを通じた交流事業		主管組織	福祉相談課 健康推進課 社会教育課
取組み概要	スポーツや健康づくりを通じた交流人口の増加にむけて内容・手法を検討する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

チャレンジデーへの参加により他自治体との交流を図るとともに、狛江らしいスポーツ
の推進としてビーチボールの普及・啓発を図っていく。また、障がい者を対象としたスポ
ーツイベントによる交流を図る。

※チャレンジデー…毎年5月の最終水曜日に人口規模が同程度の自治体で、午前0時から
午後9時までに、15 分以上継続して運動やスポーツなどの身体活動を行った住民の参加
率を競い合う、住民総参加型のスポーツイベント。

事業番号 19

取組名	狛江駅前のにぎわいの創出		主管組織	地域活性課 環境政策課 社会教育課
取組み概要	狛江の玄関口であり、駅前広場や弁財天池特別緑地保全地区、泉龍寺など自然、歴史が凝縮されたロケーションを活かして、駅前一帯を使ったにぎわいのある事業の検討			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

狛江駅北口交通広場における駅前ライブ等のさらなる充実を図る。

弁財天池特別緑地保全地区開放回数の増加を検討する。

駅前広場でイベントを開催する際、泉龍寺が所蔵する文化財の特別公開を依頼していく。

事業番号 20

取組名	こまエコまつり		主管組織	環境政策課
取組み概要	環境週間に行われていたイベントに 26 年度から「こまエコまつり」と名称を付け、愛着を持たせるとともに、花苗や苗木の配布、エコドライブシミュレーターの体験、講演会などを実施し、事業者の協力を得ながら環境教育を実施していく。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

花苗や苗木の配布、エコドライブシミュレーター、講演会などを実施し、市民及び事業者の協力を得て環境教育を実施していく。また、市民が参加したいと思うブース等を検討していくと共に、市外へも情報発信していく。



狛江市環境マスコット
エコまん

■地域の活用～一人ひとりが広報マン～

人・地域に着目して、人的な側面からの情報発信に取り組んでいきます。

また、シティセールスにあたっては、狛江を愛する市民一人ひとりが様々な場面で狛江市をPRすることが最も大きな効果を生みます。この視点を大事にしながら取り組んでいきます。

事業番号 21

取組名	友好交流都市や災害協定を結んでいる都市との交流の促進		主管組織	安心安全課 地域活性課
取組み概要	狛江市と交流のある都市との人的・物的交流を促進し、友好・災害協定都市等と連携した食の祭典や友好・災害協定都市等におけるイベント等で狛江市のPR活動を実施する等、顔と顔の見える関係を構築する。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	

【具体的な取組み案】

市民まつりへの参加や訓練の相互参加等を通じて、さらに交流を深め相互交流を深める。



一般社団法人石巻観光協会による
物産展（市民まつりより）



ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域
によるあゆの塩焼き（市民まつりより）

事業番号 22

取組名	キャラクターの活用		主管組織	秘書広報室 政策室
取組み概要	既存のキャラクターの活用実態を把握し、キャラクターの活用方法を検討する。また、市の代表的なキャラクターについて検討していく。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討	検討	検討	
				

【具体的な取組み案】

キャラクターの管理・運用方法等の調査を行い、市をPRするための活用を検討する。

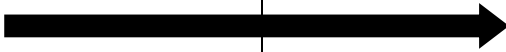
事業番号 23

取組名	観光大使の活用		主管組織	秘書広報室
取組み概要	「観光大使」を創設し、狛江市にゆかりのある著名人を大使に任命し、狛江市のシティセールス活動に協力してもらう。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	実施	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

観光大使を決定すると共に、市制施行 45 周年を記念したイベント等に参加してもらう。

事業番号 24

取組名	小田急電鉄株式会社との連携の強化		主管組織	秘書広報室 政策室
取組み概要	狛江で市内外から多くの来訪者を呼び込むには市内の主要公共交通機関である小田急電鉄との連携が不可欠である。各種イベントや事業を行うじて小田急電鉄との連携の強化を図る。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討	実施	継続	
				

【具体的な取組み案】

和泉多摩川駅で市の歌を活用する。

トップ同士のつながりの他、広報部門をはじめ小田急電鉄株式会社側との顔の見える化を進めていく。

小田急電鉄と協力・提携した事業を検討する。

事業番号 25

取組名	大学生とのシティセールス事業		主管組織	秘書広報室 政策室
取組み概要	イベントのボランティア募集等、積極的に市から大学へ呼びかけを行うことにより、大学生の地域参加を促し、また大学生の若い視点や情報発信・拡散力（ツイッター、フェイスブック等のSNS）を利用したシティセールスを展開していく。 ※SNS（Social Networking Service）・・・インターネット上で相互交流が可能な社会的ネットワークを構築するサービス			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討	実施	継続	
				

【具体的な取組み案】

イベントの実行委員会に参加してもらい、積極的に企画運営に携わってもらう。

■情報媒体等の活用

情報技術や広報誌など物的な側面に着目した情報発信に取り組んでいきます。また、情報発信の媒体の活用にあたっては、情報としての価値を見極め、情報発信の目的・タイミングなどその時の最適な媒体を選択して発信していきます。

事業番号 26

取組名	観光などの魅力を発信するホームページの開設			主管組織	地域活性課
取組み概要	行政の立場では平等性等の立場から発信しづらい個々の市内店舗等の紹介や市内の様々なイベント情報を掲載する観光協会のホームページと市の「狛江の魅力・観光情報」のページが連携することにより市の魅力のアップに繋げていく。				
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
	観光協会 HP の作成・運用	継続	継続		
	市民ボランティアの検討	市民ボランティアの募集・育成	継続		

【具体的な取組み案】

平成 27 年度に花火大会が実施をされることから、花火大会のホームページ作成を行うにあたり、観光協会のホームページを作成し、行政の立場では平等性等の立場から発信しづらい狛江の魅力を発信する。将来的には観光情報を発信する市民ボランティアを募集し、市民による情報発信を行っていく。

事業番号 27

取組名	SNS の活用		主管組織	秘書広報室
取組み概要	市外や全国に情報を発信していくために、ツイッターやフェイスブック（平成 26 年度中導入予定）などの SNS によるイベントや魅力の発信の強化を図る。また、ツイッターやフェイスブックは、広報こまえや市ホームページ等よりも早く情報が発信できるため、オンタイムでの情報発信が可能である。			
	※SNS（Social Networking Service）・・・インターネット上で相互交流が可能な社会的ネットワークを構築するサービス			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

イベント当日、担当部署から発信できるように環境整備を行う。

イベントなどの様子を動画にして SNS を活用して配信していくことを検討する。

事業番号 28

取組名	子育てサイト発信		主管組織	子育て支援課
取組み概要	各種イベントの広報・周知。特に枝豆を活用したイベントの際には、えだまめ王子がツイッターでつぶやくなど、粕江の魅力を積極的に発信していく。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	継続	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

現在運用している、こまえ子育てねっとを活用して各種イベントを広報・周知する。また、市内のイベント、特に枝豆を活用したイベントについては、積極的にツイッターでつぶやいていく。

※こまえ子育てねっと・・・子育てに関する情報発信をするポータルサイト



こまえ子育てねっとキャラクター えだまめ王子

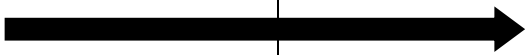
取組名	撮影支援事業の拡充		主管組織	地域活性課
取組み概要	現在、市では市の公共施設を中心として撮影支援を行っているが、市民、民間施設とも連携し、撮影支援の窓口を一本化するとともに、よりシティセールスに特化した形で撮影支援の拡充を図っていくことで、映画・広告等といった様々なメディアを通じて狛江の認知度を高めていく。 将来的には、積極的に撮影の誘致・支援を行っていく組織の立ち上げを検討し、市民のエキストラでの撮影支援事業への参加、公共施設・民間施設等の協力体制の構築、撮影された作品の紹介や放送日の情報などをホームページ等を通じて市内外に発信する等、これらの全市的な取組みにより市のイメージ向上との相乗効果を図っていく。 また、他のフィルムコミッションとの連携を行い、撮影支援に係る情報共有を行うとともに、写真や図を活用した撮影場所の紹介と手続関係を冊子としてまとめたものを撮影関係者に配布することで、狛江市の撮影支援事業のPRを図る。 ※フィルムコミッション・・・映画やテレビ等の撮影場所の誘致や撮影支援を行う組織			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	撮影支援事業の再検討  観光協会との連携の検討 	観光協会による 撮影支援事業の運用 	継続 	

【具体的な取組み案】

平成 27 年度は市における現在の撮影支援事業の再検討を行い、庁内調整を行う。

市の撮影支援に対する方向性をしっかりと定めた上で、民間ロケーションサービス会社の力を活用しながら、狛江市観光協会との連携により、市の公共施設のみならず、民間の施設も含め、全市を挙げて撮影支援に取り組むため、フィルムコミッションの立ち上げを検討する。

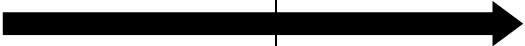
事業番号 30

取組名	民間活力を活かした情報誌の作成		主管組織	秘書広報室
取組み概要	狛江市と小田急線沿線の自治体と協力して出版社等に働きかけ、狛江市の魅力を紹介する情報誌を作成していく。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	検討	実施	継続	
				

【具体的な取組み案】

狛江市の魅力の現状把握・集約を行う。また、小田急線沿線の自治体への協力や出版社側へ作成を提案すること等について、平成 28 年度の実施を目標に検討を行う。

事業番号 31

取組名	新たな広告媒体の設置、拡充		主管組織	秘書広報室
取組み概要	狛江の魅力やイベントなどをデジタルサイネージや AR（拡張現実）等の新たな広告媒体を活用して発信していく。 また、狛江市の宣伝を市外の主要駅の情報発信媒体にデジタル配信することができないか検討していく。 ※デジタルサイネージ・・・液晶ディスプレイなどで映像を表示した看板や案内板 ※AR（Augmented Reality＝拡張現実）・・・現実世界の物事に対してコンピュータによる情報を付加することである。静止している写真にスマートフォンをかざして動画を閲覧することができる。			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	デジタルサイネージ拡大	継続	継続	
				
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	AR 導入	実施	継続	
				

【具体的な取組み案】

AR を広報こまめ等市で発行している情報媒体に活用することによって、映像による情報提供を行う。民間事業者との協力・連携で進めているデジタルサイネージを拡大する。

取組名	パブリシティの活用		主管組織	秘書広報室
取組み概要	マスコミの発信力を最大限に活用し、市の魅力を効果的かつ効率的にアピールする。イベントの後援などでマスコミを巻き込む、マスコミとの連携を強化していく。			
	※パブリシティ・・・PR活動の一種で情報を積極的にマスコミに提供し、メディアを通して多くの人に報道されるよう働きかける広報活動			
スケジュール	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
	拡充	継続	継続	
				

【具体的な取組み案】

狛江のイベントに対して後援の獲得を図っていく。

市民・団体・行政などの活動を積極的に報道機関へ情報提供していき、市内外で市の知名度を高めていく。

5. 資料編

(1) 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会委員及び庁内検討部会部員名簿

■ 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会委員名簿（平成 26 年 10 月現在）

役 職	氏 名	職 名
委員長	浅見 秀雄	企画財政部秘書広報室長
副委員長	片岡 晋一	市民生活部地域活性課長
委員	小川 啓二	企画財政部政策室長
	鈴木 実	総務部危機管理担当理事兼安心安全課長
	安江 真人	市民生活部地域活性課狛江の魅力発信担当主幹
	小川 正美	福祉保健部福祉相談課長
	小川 みゆき	児童青少年部子育て支援課長
	向後 貴弘	環境部環境政策課長
	加藤 達朗	都市建設部まちづくり推進課長
	浅見 文恵	教育部社会教育課長

■ 狛江市シティセールス庁内検討部会部員名簿（平成 26 年 10 月現在）

役 職	氏 名	職 名
部会長	杉田 剛	企画財政部秘書広報室広報広聴担当主査
副部会長	安江 真人	市民生活部地域活性課狛江の魅力発信担当主幹
部員	浅井 信治	企画財政部政策室企画調整担当主査
	菊野 長正	総務部安心安全課防災防犯係長
	細川 浩光	市民生活部地域活性課コミュニティ文化係長
	三宅 哲	市民生活部地域活性課地域振興係長
	小原 正枝	福祉保健部福祉相談課相談支援係長
	中村 貞夫	児童青少年部子育て支援課企画支援係長
	鈴木 弘貴	環境部環境政策課長補佐兼水と緑の係長
	松井 崇	都市建設部まちづくり推進課都市計画担当主査
	宇佐美 哲也	教育部社会教育課文化財担当係長

(2) 狛江市シティセールス推進庁内検討委員会及び庁内検討部会 開催状況

■狛江市シティセールス推進庁内検討委員会開催状況

開催日	主な内容
第1回	
平成26年 7月28日(月)	・狛江市シティセールスプランの概要について ・副委員長の選任について ・委員会及び部会での検討事項及び進行方法について
第2回	
平成26年 8月21日(木)	・部会から中間報告のあった事業(案)の検討について
第3回	
平成26年 9月29日(月)	・部会から提出された実施計画(案)の検討について
第4回	
平成26年 10月15日(水)	・実施計画(案)について

■狛江市シティセールス庁内検討部会開催状況

開催日	主な内容
第1回	
平成26年 7月28日(月)	・狛江市シティセールスプランの概要について ・委員会及び部会での検討事項及び進行方法について ・部会長及び副部会長の選任について ・事業の検討について ・今後のスケジュールについて
第2回	
平成26年 8月7日(木)	・事業の検討について
第3回	
平成26年 8月13日(水)	・第2回検討委員会へ提出する事業(案)のまとめについて
第4回	
平成26年 8月25日(月)	・第2回検討委員会の検討結果について ・事業の再検討について
第5回	
平成26年 9月1日(月)	・事業の検討について
第6回	
平成26年 9月5日(金)	・事業の検討について

第7回		
	平成 26 年 9 月 17 日（水）	・第3回検討委員会へ提出する実施計画（案）について
第8回		
	平成 26 年 10 月 9 日（木）	・第3回検討委員会の検討結果について ・第4回検討委員会へ提出する実施計画（案）について

(3) 設置要綱

○狛江市シティセールス推進庁内検討委員会の設置及び運営に関する要綱 (平成 26 年要綱第 110 号)

(目的)

第1条 この要綱は、狛江市シティセールスプラン（以下「プラン」という。）を推進するため、狛江市シティセールス推進庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) プランを推進するための事業の検討及び進行管理に関すること。
- (2) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる課又は室（以下「課等」という。）の課長職にある者をもって構成する。

- (1) 秘書広報室
- (2) 政策室
- (3) 安心安全課
- (4) 地域活性課
- (5) 福祉相談課
- (6) 子育て支援課
- (7) 環境政策課
- (8) まちづくり推進課
- (9) 社会教育課
- (10) その他検討にあたり必要となった課

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を各1人置く。

- 2 委員長は、秘書広報室長をもって充て、副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(シティセールス庁内検討部会の設置)

第6条 委員会は、所掌事項の検討にあたり、必要があるときは、シティセールス庁内検討部会（以下「部会」という。）を設置することができる。

- 2 部会は、原則として、第3条各号に掲げる課等の係長職（係長を置かない主管課においては、主査）にある者で委員長が必要と認める者をもって構成する。

3 部会に部会長を置き、部会員の互選によってこれを定める。

4 前条の規定は、部会において準用する。この場合において、「委員会」とあるのは、「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(庶務)

第7条 委員会及び部会の庶務は、企画財政部秘書広報室において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会及び部会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、公布の日から施行する。

登録番号 H26-37

狛江市シティセールスプラン実施計画

平成 26 年 10 月発行

発 行 狛江市
編 集 狛江市企画財政部秘書広報室
狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号
電話 03 (3430) 1111 (代表)
印 刷 庁内印刷
頒布価格 50 円